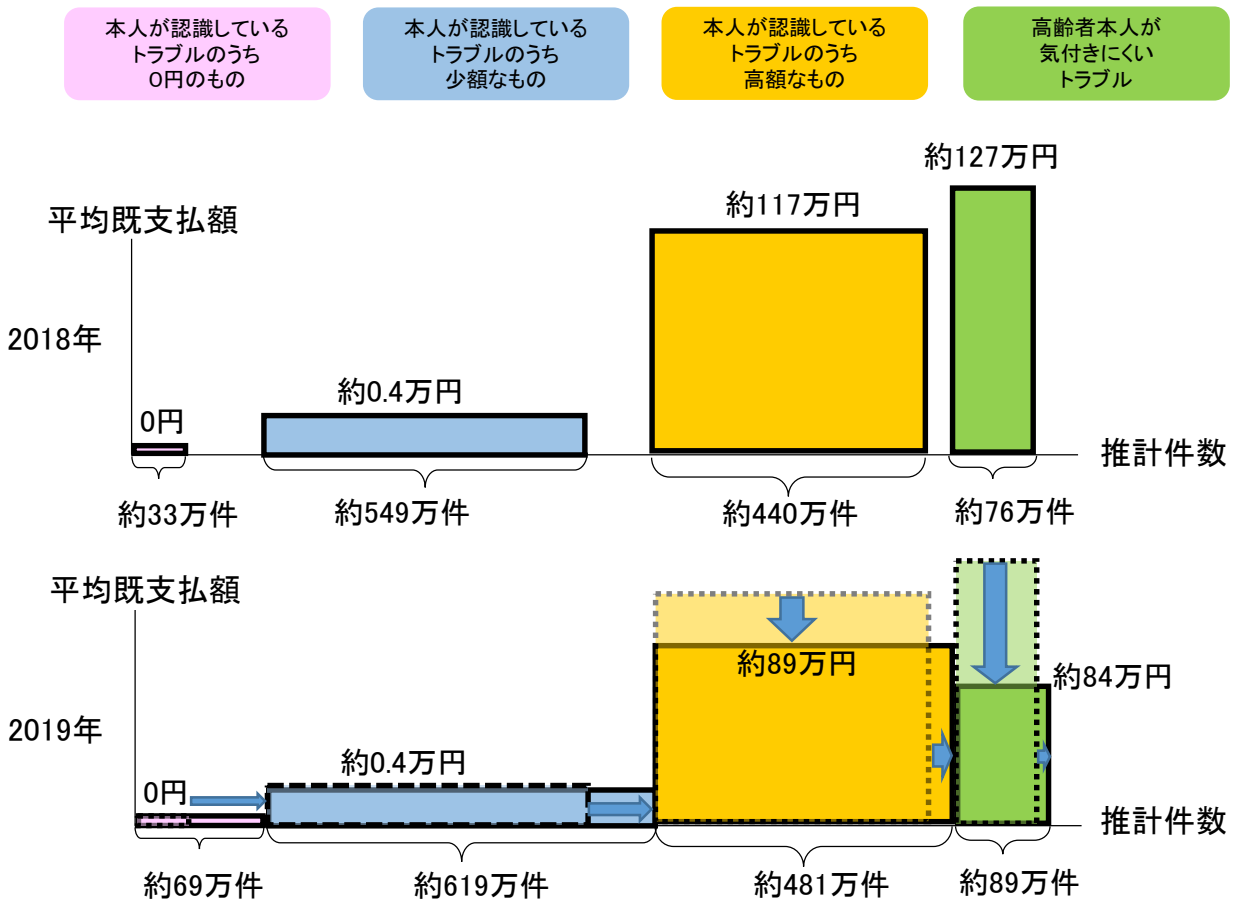
参考資料1

消費者被害・トラブル額の変化（2018年→2019年）

推計件数と平均既支払額の変化



（備考） 1. 横軸は消費者被害・トラブルの推計件数、縦軸は消費者被害・トラブルの平均既支払額（信用供与を含む。）、面積は消費者被害・トラブル額を表す。
2. イメージ図であるため、各辺の長さと金額・件数は比例しない。

消費者被害・トラブル額の変化

	本人が認識している トラブルのうち 0円のもの	本人が認識している トラブルのうち 少額なもの	本人が認識している トラブルのうち 高額なもの	高齢者本人が 気付きにくい トラブル	合計
2018年	0円	約0.02兆円	約5.1兆円	約1.0兆円	約6.1兆円
2019年	0円	約0.02兆円	約4.3兆円	約0.7兆円	約5.1兆円

（備考） 1. 表内の金額は消費者被害・トラブル額の既支払額（信用供与を含む。）である。
2. 四捨五入のため、合計は必ずしも一致しない。

※消費者被害・トラブル額の推計結果において、2015年から2019年までの5か年の推計値に誤りがあったため、令和3年6月8日の「2019年消費者被害・トラブル額の推計結果について」の一部変更に合わせ、当該年の推計値とその他表記を修正しました。